

鳥インフルエンザ（H7N9）のパンデミック懸念と感染予防対策について

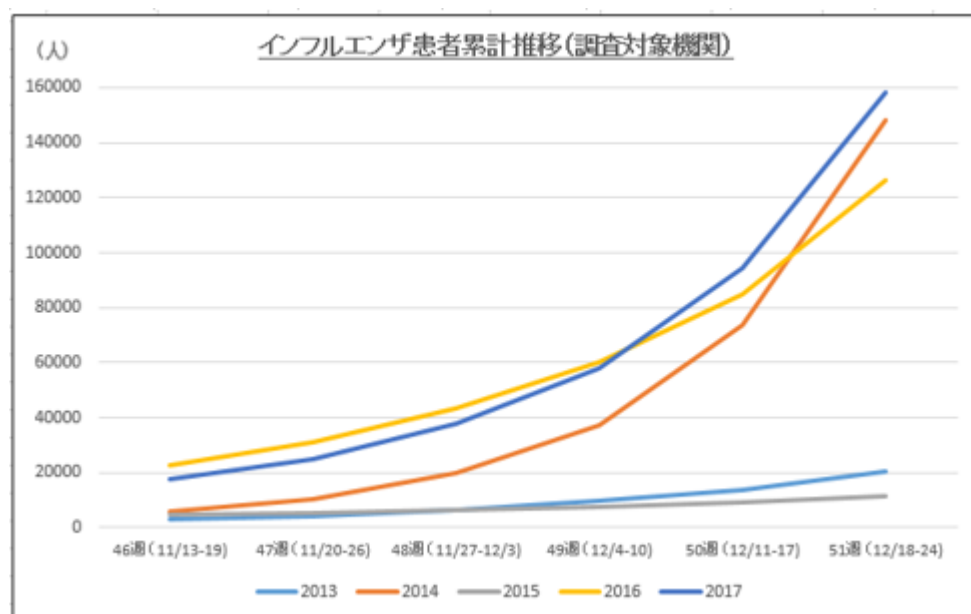
2018年1月11日
セリングビジョン株式会社

お隣の中国では、鳥インフルエンザ（H7N9）の患者が急増しています。中国の鳥インフルエンザの第一人者である驢洪洲教授によると「2013年に初めて患者が確認されてから昨年6月30日にかけて、中国大陸・香港・台湾・マカオで約二千人の感染者が発生し、その平均死亡率は約40%に達している。」とのことでした。

また、前国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター長の田代真人医学博士によると、「ヒトに感染しやすい遺伝子の変化が見つかり、今後さらに変化が進むと、鳥から人への感染ルートだけでなく、ヒトからヒトへのルートが生まれ、新型インフルエンザの感染爆発（パンデミック）につながる恐れが出てくる。」と警鐘を鳴らしています。

鳥インフルエンザウイルス（H7N9）の感染流行が起こった場合、感染防御の第一はこの毒性の強いウイルスを体内に入れないことです。その有効な方法がウイルスを遮断する機能を持ったマスクの着用です。確実に有効なマスクかどうかは、実際にH7N9ウイルスを使用した試験でウイルスを透過させないことを確認する必要がありますが、弊社の取り扱うマスクは、この実証試験で合格したマスクを扱っております。今後の感染予防対策としてしっかりとした準備をお奨めいたします。

国内においてもインフルエンザが流行しており、その勢いはこの5年間で最も高いものとなっています。弊社では高機能・高性能マスクや、うがい薬をはじめ感染症対策用品、防災対策用品等を取り揃えておりますので、お気軽にお問い合わせください。



*国立感染症研究所の調査。全国約5千の医療機関で、1週間に受診した1医療機関当たりの者数で流行状況を判断する。

<お問い合わせ>

セリングビジョン株式会社

担当：田口

〒105-0003

東京都港区西新橋1-9-1 プロドリー西新橋ビル8F

TEL：03-5251-3101

FAX：03-5251-6020